

TRiS

株主通信



当社では2025年3月28日に第30回定時株主総会が開催され、第31期の目標達成に向けて引き続き現体制のもと、役職員が一丸となって業務に取り組んでおります。

具体的には当社グループは「不動産投資事業」「建設コンサルタント事業」「ファッションブランド事業」の3つの柱を主軸としておりますが、特に高い投資収益率(ROI)が期待できる「不動産投資事業」を昨年度に引き続き本年度も重点事業と位置付け、注力しております。

2024年連結会計年度につきましては、その不動産事業が終盤に好調に推移したことにより、僅かながらも営業利益を計上することができました。また、経常利益につきましては円安による米国子会社からの送金も追い風となり、前年度に続き堅調な収益を確保することができました。

2025年度連結会計年度は、さらなる業績向上が期待され、沖縄リゾート開発事業販売が大きく牽引し、売上高前年比約200% 2,882百万円、経常利益前年比約41% 354百万円を予定しております。

業績向上による株価向上を目指し、株主の皆様の期待に応えるべく、役職員一同、一層の努力を重ねてまいり所存でございます。

引き続き変わらぬご支援、ご指導を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

2025年6月 代表取締役 東郷薫

過去の実績及び中期経営計画の概要

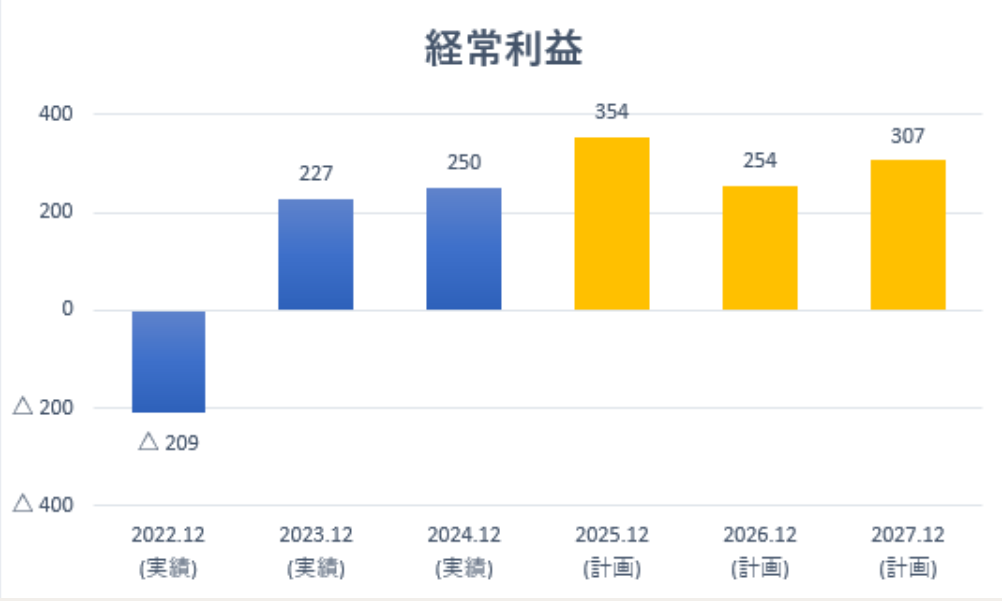
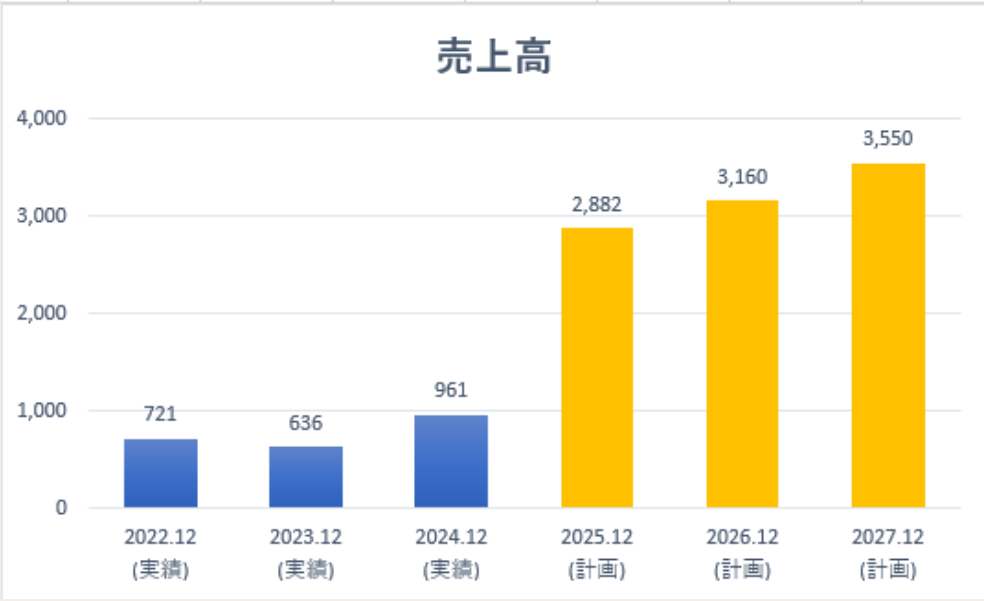
当グループは現在、「不動産投資事業」「建設コンサルタント事業」「ファッションブランド事業」の3つを事業の柱として事業展開しております。各事業において、地域社会との連携を深めながら、地方創生への貢献を目指した事業活動を推進しております。次期につきましては当連結会計年度同様、3つの事業の中でも高ROIが期待できる「不動産投資事業」に特に力を入れます。

（売上高について）2022年12月期から2024年12月期にかけて、売上高は6億から9億で推移。2025年12月期は2,882百万円、2026年12月期には3,160百万円、2027年12月期は3,350 百万円を目標とする。

（営業利益について）2022年12月期から2024年12月期にかけて営業損益は回復基調にある。2025年12月期は166百万円、2026年12月期は203百万円、2027年12月期は258百万円を目標とする。

（管理部門の一般管理費について）人員増強やIT投資などインフラ強化の投資により、2024年12月期は231百万円と前事業年度より大幅に増加。投資のメリハリを利かせ、2025年12月期は249百万円、2026年12月期は252百万円、2027年12月期は267百万円と予測。

（営業外損益及び経常利益について） 海外子会社の減資に伴う為替差益及び受取利息が大幅に減少するという前提で営業外収益は減少傾向にあると予測。営業外費用については通常発生が見込まれるものを見積っている。これらの営業外損益の推移を受け、2025年12月期の経常利益は354百万円、2026年12月期は254百万円、2027年12月期は258百万円と予測。



トライアイズグループの事業について

株式会社トライアイズは、2007年に純粹持ち株会社へ移しましたが2011年よりライセンシングビジネス、2021年に国内不動産投資を手掛けております。
当グループにおいて

①不動産投資事業

②建設コンサルタント事業

③ファッション
ブランド事業

3本の柱を軸に
業務運営を行っております。

① 不動産投資事業

本格的に国内不動産投資を行うため、2024年6月に宅地建物取引業免許を取得いたしました。

今後は国内不動産の 買取再販や所有する収益物件数を増やし収益性の向上を目指します。

また、 物件売却も視野に入れ、資本効率性を追求していきます。さらに、SDG'sを視野に入れた地方創生事業も進めていく予定です。こちらでは、2023年に沖縄リゾート開発会社と業務提携を行い、沖縄県恩納村で着手している2案件の開発についてご紹介いたします。

沖縄の可能性



沖縄経済・観光業ともに回復が続いている。

沖縄北部に自然体験型の大型テーマパークが2025年に開業予定。沖縄にはすでに高級ホテルも進出しており、宿泊施設数は22年末時点で約3700軒と競争が激しいが、富裕層を中心に人気が高いプライベート感のあるヴィラタイプの高級リゾートはまだ少なく、プライベートプール付きのコンドミニウムも需要が旺盛であり、ビジネスチャンスがあると判断しました。



完成イメージ図



沖縄第一弾プロジェクト 名嘉真プールヴィラ6棟

近隣には多くのビーチやダイビングスポットが点在している、「美ら海水族館」や「古宇利大橋」などの沖縄北部観光スポットが車で1時間以内のロケーション。全棟プライベートプールを完備。本プロジェクトについては、以前からヴィラの購入を検討されていたお客様を中心にお申し込みをいただき、引渡しに向け建築工事を進行中です。



エントランスイメージ

沖縄第二弾プロジェクト 仲泊ホテルコンドミニアム40室

人気のダイビングスポット「青の洞窟」まで車で8分、全室オーシャンビューの絶好のロケーション全室プライベートプールを完備。高級感を追求したデザインと機能性となっております。加えてニーズのある設備を充実させるなどのプレミアム感のある詳細プランを熟考しております。

第二弾プロジェクトは、沖縄リゾート開発会社での販売だけではなく、当社でも販売に向け準備を進めております。

② 建設コンサルタント事業

株式会社クレアリアは、1965年の創業以来、ダムを中心とする河川の上流から河口・海岸までの水関連に特化した建設コンサルタント事業に従事してまいりました。

これまで、日本全国の治水・利水・防災関連事業にかかわっており、当社が国内において関連したダムの数は300箇所を超えております。

事業の内容としては、社会資本整備、特にダム・河川・砂防などの水関連分野において、事業者である国・地方自治体などに対する企画・調査・計画・設計・解析・施工計画・試験・管理等の事業執行を支援することです。

【2024年度業務実績 ダム本体、洪水吐き、付帯設備】



ダム長寿命化計画見直し業務（石川県九谷ダム・我谷ダム）



ダム長寿命化計画変更業務（秋田県山瀬ダム）



ダム放流設備詳細設計業務（秋田県皆瀬ダム）

災害復旧支援



道路施設・法面对策・海岸護岸・河川護岸等
(能登半島地震被災箇所への復旧詳細設計対応)

ファッションブランド事業の三大重要事項

① 消費者目線にたった新商品の開発・販売

マーケットに合わせた軽量商品、財布を中心としたSLGのさらなる開発を行う



② 販路拡大

濱野皮革工藝はオンライン販売とふるさと納税へより注力。クレイサスは新規ライセンシーの開拓と新規取り扱いアイテムの開拓、既存ライセンシーとの連動を強化

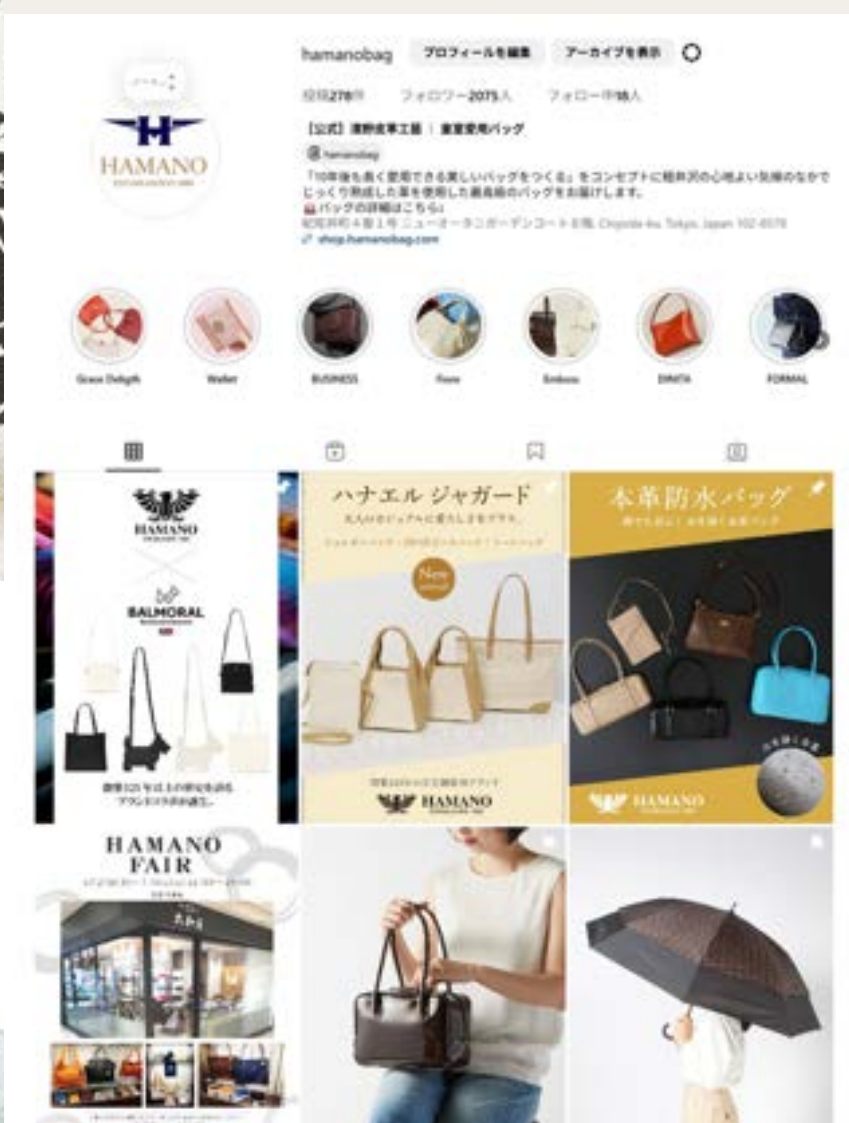


ファッションブランド事業

③ 認知度の向上

濱野皮革工芸・クレイサスとも、広告・宣伝を適切に行うことによって認知度を高める。

広告（SNSやターゲティング広告）やメディアに商品の貸出による露出などを実地し、現在約35,000件のユーザー数（WEB訪問数）を2026年までに2017年の水準（8万件）に増加させ安定的に維持する。



財務諸表

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000015.000124346.html>

会社概要

https://www.triis.co.jp/company-info#company_section-03

株主優待

https://www.triis.co.jp/investment/stock-info#stock-info_section-02

株主メモ

https://www.triis.co.jp/investment/stock-info#stock-info_section-04

名義書換、住所変更の手続きについて

<https://www.triis.co.jp/investment/question>

単元未満株式の手続きについて

<https://www.triis.co.jp/investment/question>



東京都千代田区紀尾井町 4 番 1 号 ニューオータニガーデンコート 8 階

(03) 3221-0211

<https://www.triis.co.jp/>

作成日: 2025年6月30日